



お元気ですか！
志村 たかよし です

第883号 2018年4月1日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

2018年度予算案に反対

「東京一極集中」のまちづくりから 福祉のまちづくりへ転換を

理解も合意もえられない築地市場移転は中止を

日本共産党区議団は、予算特別委員会での審議をふまえ、2018年度予算案に反対しました。その主な理由をお知らせします。

●地方消費税の精算基準の変更により、消費税が増税された場合、30億円の減収が見込まれるにも関わらず、消費税増税を容認するのは問題です。

●労働条件の向上を図ることで、事業者にとって優秀な人材確保と良質な公共工事や委託業務を可能とする公契約条例制定に消極的です。

●区内各地で行われているヘイトデモ、ヘイトスピーチは「人権が尊重され、年齢・性別・国籍等を問わず誰もが幸せを実感できるまち」を目指すとする中央区基本構想の理念に反します。

●いまだ問題山積で理解も合

意も得られない築地市場移転は、元々の立場である「断固反対」に立ち戻るべきです。

●晴海選手村跡利用での約6千戸となる過剰なマンション建設計画の見直しと、公共住宅整備を都に求めるべきです。

●供給過剰となっている超高層ビルやタワーマンション建設によって環境を破壊していることは問題です。

●区は、市街地再開発を今後も進行させる一方で、ホテル整備を促進していることは問題です。国や東京都と一体に「東京一極集中」をさらに加速させる区の姿勢を改めるべきです。

●「日本橋」上空の首都高速道路地下化に、地元で反対の声がある中、撤去について地下化ありきの姿勢は問題です。

●既に削減された敬老祝い品をはじめ、生活保護世帯への夏期・歳末見舞金の廃止など福祉分野で冷酷な切り下げを進めていることは問題です。福祉予算を抜本的に拡充することを求めます。

●持続可能な「みんなの食堂」運営の支援策が不十分です。

●学校給食の無償化など保護者負担の軽減に努力すべきです。

●保育士や教員のタイムカード導入による正確な労働時間の把握など、多忙化解消策に取り組むべきです。

●過剰競争を生む「学習力サポートテスト」は中止すべきです。

●泰明小学校のアルマーニの標準服問題は、格差の是正に逆行するものであり、学校長の責任のみならず、教育長、区長の責任も重大です。

市街地再開発の間⑬

結論ありきの「まちづくり勉強会」

16年6月14日に開かれた第1回

「勉強会」の資料を検証します。

連載⑪で報告しましたが、p1の

「はじめに」には「本区としては、

： 再開発事業等のまちづくり手法

を活用しながら、： という考えを

持っております」と書いてあります。

p4には「中央区の主な開発動向」

(連載⑫)が示されています。

そして、最後のp5(下の資料1)

には「八丁堀三丁目地区のまちづく

りについて」として「まちの将来像」

「地域の活かしたいところ・残した

いところ」「地区の課題は？」が示

されています。

p5に書かれている文章を左に転

載しました。

この「大事な部分」を、まずはじ

めに住民、地権者が行政や専門家と

ともに、話し合い研究しあうとい

のが本来あるべき「まちづくり勉強

会」の姿だと思えます。

しかし、区が行っているのは、「再開発事業でやってきましたよー！」という結論ありきの勉強会です。

p5の縮めの部分に、わざわざア

ンダーラインをして「まちづくり」

は、地域が「こうあったらいい」と

いう将来について皆様で考えていく

ことが重要です。とあるのが白々し

く聞こえます。

このような「勉強会」の進め方に

ついて「住民は区を信じているので、

市街地再開発事業がどんな課題でも

解決する万能薬に見えてしまうので

はないでしょうか」という声が出て

います。(つづく)

まちの将来像 (将来のすがた)

例えば…

- これからも住み続けられる、働き続けられるまち
→生業の継続、建て替え更新が円滑に進むまちづくり
- 安全で、快適なまち
→防災機能、広場や緑が充実、歩きやすいまちづくり
- にぎわいや活気があるまち
→商店街や通りのにぎわいの創出づくり
- 歴史や伝統を大切にするまち
→お祭りなど地域活動の継続が図られるまちづくり

地域の活かしたいところ・残したいところ

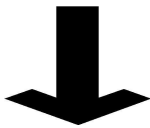
例えば…

- ・地域のコミュニティ形成の中心的役割を果たしてきた京華スクエア (旧京華小学校)
- ・八丁堀らしさ (江戸時代からの町人のまち)
- ・近所づきあいがある
- ・アクセスが良く便利
- ・人通りが多い通りがある

地区の課題は？

例えば…

- ・周辺がオフィスに変わってきた
- ・道路が狭くて、防災面で不安
- ・道路が狭いけど、このまま建替してもいいの？
- ・日用品の店舗などが少なく不便



「まちづくり」は、地域が「こうあったらいい」という将来について皆様で考えていくことが重要です。

八丁堀三丁目地区のまちづくりが、八丁堀エリアにとって相応しい土地利用と有効的な公共施設づくりとなるようまちづくりについて考えていきましょう。

5 八丁堀三丁目地区のまちづくりについて P.5 (資料1)

まちの将来像 (将来のすがた)
例えば・・・

- これからも住み続けられる、働き続けられるまち → 生業の継続
建て替え更新が円滑に進むまちづくり
- 安全で、快適なまち → 防災機能
広場や緑が充実、歩きやすいまちづくり
- にぎわいや活気があるまち → 商店街や通りのにぎわいの創出づくり
- 歴史や伝統を大切にするまち → お祭りなど地域活動の継続が図られるまちづくり

地域の活かしたいところ・残したいところ
例えば・・・

- ・地域のコミュニティ形成の中心的役割を果たしてきた京華スクエア (旧京華小学校)
- ・八丁堀らしさ (江戸時代からの町人のまち)
- ・近所づきあいがある
- ・アクセスが良く便利
- ・人通りが多い通りがある

地区の課題は？
例えば・・・

- ・周辺がオフィスに変わってきた
- ・道路が狭くて、防災面で不安
- ・道路が狭いけど、このまま建替してもいいの？
- ・日用品の店舗などが少なく不便

「まちづくり」は、地域が「こうあったらいい」という将来について皆様で考えていくことが重要です。

八丁堀三丁目地区のまちづくりが、八丁堀エリアにとって相応しい土地利用と有効的な公共施設づくりとなるようまちづくりについて考えていきましょう。